



LGBTの中にも、ろう者はいる

やまもと ふゆみ
山本 芙由美 さん

私はろう者。両親もろう者で手話があふれる家庭で育ちました。両親はろうであることに誇りをもっていて、そんな姿を見て育った私は「ろう」であることが自分の核心となっています。その一方では幼少時から「女らしさ／男らしさ」というものに違和感がありました。現在、性自認はQueer（クィア）^{※1}で折り合いがついています。私のパートナーの諒さんは、ろう者でトランスジェンダー^{※2}（FTM^{※3}）です。

その諒さんが女性から男性へと本来の姿を取り戻すために性別を変えようとしたとき、相談手段が電話だけだったり、手話通訳を利用しにくかったり、と様々な問題と直面しました。私は諒さんと一緒にいることで、LGBT^{※4}に対する差別は、ろう者社会の中でも聴者社会と同じように強いと感じるようになりました。日本では聴覚障害者が公的に認められる範囲だけでも約30万人おり、その中にろうLGBTは1～2万人程度存在するといわれています。でも、手話でも「おかま」「ホモ」といった侮蔑的手話表現が今でもなお使われています。

そこで、私たちはろうLGBTへの理解を形として残せるもの、社会に発信できるものとして「ろうLGBTサポートブック」を発行しました。ここにろうLGBTが抱える問題や解決方法、手話表現などをわかりやすく掲載しています。^{※6}

今後の課題として、ろうLGBTをただ二重のマイノリティと捉えるのではなく、ろうLGBTを一つの存在と考え、ろうコミュニティ、LGBTコミュニティともちがった、ろうLGBTコミュニティこそがその人たちにとって必要だと考えています。日本ではLGBTについて少しずつですが、やっと知られるようになってきました。しかし、LGBTIQ A^{※5}と続きがあるように、セクシャリティは実にまだまだ多様です。ろうLGBTの仲間たちの力による、ろうLGBT

活動は「性の多様性を知ってもらうことで、すべての多様性を認め合える社会」という目的に向かって進んでいます。



- ※1 クィア（Queer）元々は英語で差別的に使われる「変態」という意味だったが、最近では当事者がポジティブに自称する言葉として使われている。また、ジェンダー、またはその他の方面でレッテル貼りを望まない、分類されたくない者を指す。LGBTのことをまとめてクィアと呼ぶこともある。
- ※2 トランスジェンダー 身体の性別とは異なる性別を生きる（生きたいと望む）人たちの総称。
- ※3 FTM 女性として生まれ、性自認が男性の人（生きる/生きたい人）。
- ※4 LGBT L（レズビアン）G（ゲイ）B（バイセクシュアル）T（トランスジェンダー）の略称。セクシュアルマイノリティ全体を指す言葉として使われる。
- ※5 IQA I（インターセックス）Q（クエスチョニング）A（アセクシュアル）
- ※6 ろうLGBTサポートブックはここからダウンロードができる。
Deaf LGBT Center : <http://deaf-lgbt-center.jimdo.com>



プロフィール

やまもと ふゆみ
山本 芙由美 さん

ろうLGBTを支援する団体、Deaf LGBT Center代表。
大阪市在住。両親とも
ろう者。セクシャリティは
クィア^{※1}



2007年、兵庫教育大学院で障害児心理学を専攻、博士前期課程修了。

2012年8月NHK「バリバラ」セクシャルマイノリティの回に出演。

2013年10月「セクマイの医療・福祉・教育を考える全国集会」にて、ろうLGBT分科会担当。以降、ろうLGBTサポートブック&動画制作に関わるなど、ろうLGBT活動を幅広く開拓中。また、性別違和感を持つ人たちへのピアサポートなども行う。現在、ろうLGBT支援を学ぶために日本財団聴覚障害者海外奨学金事業第11期生として米国留学中。

